

ダイトウテクノグリーン株式会社

<http://www.daitoutg.co.jp>

緑化資材開発部 猪俣景悟 info@daitoutg.co.jp



会社名	ダイトウテクノグリーン株式会社
所在地	東京都町田市原町田1丁目2番3号
設立年	平成10年
代表者	代表取締役 篠田正志
資本金	10,000千円
営業品目	緑化資材の開発・製造・販売 のり面緑化資材、壁面緑化資材 駐車場緑化資材、土壌調査器具など
連絡先	Tel: 042-721-1703 Fax: 042-721-0944

1. 「温故知新」

当社は、明治5年創業の大島造園土木株式会社を母体とし、昭和48年に鎌倉に開設された企画開発室を前身として緑化資材の開発業務を行ってきました。以降、緑化・土壌研究所、ダイトウグリーン(株)など開発業務拡大に伴って都度様態を変え、緑化資材の開発製造・販売会社として平成10年に現在のダイトウテクノグリーン株式会社として独立しました。

日本緑化工学会の歩みと同様に、「斜面緑化」から壁面緑化や駐車場緑化といった「都市緑化」まで、時代とともに変化する緑化ニーズや新たな緑化未開拓地に対し、名古屋城二之丸庭園の復元工事を行って以来の「技」の蓄積と、試作・試験施工・フィードバックの繰り返しによって得られたデータの科学的アプローチにより技術開発に取組む姿勢を貫いて対応してきました。

2. 「土壌改良のオーソリティー」

特に土壌の調査・改良の分野においては、造園学会への論文発表や旧日本道路公団(現、NEXCO 3社)からの研究委託等数々の成果を挙げ、土壌改良のオーソリティーとしての地位を確立し、それらは建設省(現、国土交通省)、旧日本道路公団、住宅・都市整備公団(現、都市再生機構)などに正式採用された土壌調査器具類「長谷川式土壌貫入計、長谷川式簡易現場透水試験器」として形となり、特許や実用新案を取得してきました。また土壌改良材「OH-C」は、名木・古木の樹勢回復用に特に樹木医の皆様にご愛用頂いております。

3. のり面緑化資材の紹介「EG 植栽パック」

NETIS CB-050053-V

急傾斜な切土のり面や岩砕盛土のり面など植栽が困難な場所安定かつ安価な苗木植栽を実現するためにNEXCOと



図-1 EG 植栽パック



共同開発した集水保水型植栽袋です。植生基材吹付工で先駆性以外の国産種子を用いる場合、種子の市場性や発芽率の低さから導入可能樹種も限定されていましたが、本技術では、植栽袋の素材・形状から用土まで、試験施工と評価の繰返しにより苗木の活着を高める技術を開発し、種子では導入困難だった市場性の高いポット苗や地域性苗による多様な植生の緑化を可能としました。

4. 緑化分野の枠を広げ!

～「SH型貫入試験機」の紹介 NETIS KT-070043-A

当社の壁面緑化資材である「ヘデラ登ハンシステム」は北海道から沖縄まで25万m²以上の採用実績を誇り、駐車場緑化資材である「グリーンテクノパーキング」では他社に先駆け、いち早くタマリユウの導入を図り、植物の永続性に着眼した品質の高い駐車場緑化資材を開発・販売するなど、緑化ニーズを次々に開拓してきました。

開拓は、緑化資材だけにとどまらず、長谷川式土壌貫入計のノウハウを土木分野にも活かし、砂防・地すべりセンター、ジオグリーンテック株式会社にて共同開発した「SH型貫入試験機」の製造・販売・普及にも取組んでいます。

SH型貫入試験機とは、表層崩壊面の予測に向けて開発された軽便かつ高分解能な改良型簡易動的コーン貫入試験機です。分離可能な5kg(3kg+2kg)の重錘を自由落下させ、1打撃毎の貫入量をデータロガーにより自動記録することで「地盤表層部土層状況の詳細な把握」「想定すべり面の推定」「根系発達深度の推定」などが可能となり、斜面の既存木を極力残した対策工の設計などに役立ちます。その他、道路・鉄道盛土、堤防、空洞調査など幅広く活用可能な試験機です。

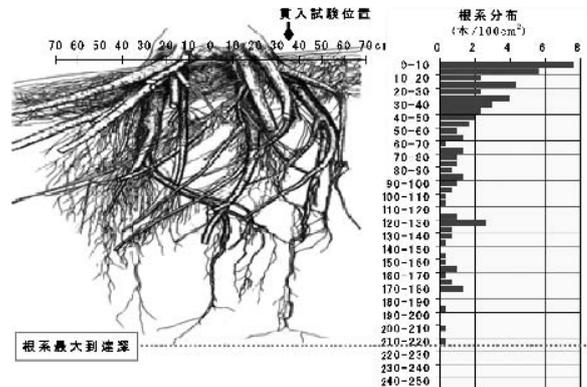


図-2 根系発達と貫入抵抗値の関係